

～地震が発生した場合、現在の住まいでの対策について不安だと思っている方が7割近くに～
住まいでの地震対策に関する調査結果報告書

株式会社LIXIL住宅研究所では、全国(沖縄を除く)の既婚女性を対象に、住まいの地震対策に関する調査を実施しましたのでご報告します。なお、有効回答:555、調査時期:2023年2月28日から3月2日です。

■調査結果の総括

今年、東日本大震災の発生から12年となります。今回の調査では、地域で大規模地震が発生した場合、現在の住まいでの対策について不安だと思っている方が7割近く(69.6%)に達しました。さらに、不安だと思っている方は、一戸建て(持ち家・借家)に住むの方がマンション(持ち家)に住む方より、10.6ポイント高くなっています。

不安だと思っている方の理由としては、家(住まい)が壊れる可能性がある44.7%が最も高く、続いて、家の中の物が落下して怪我をする44.1%、窓ガラスなどが割れて怪我をする40.7%、倒れた家具(タンスなど)で怪我をする40.0%が4割以上となっています。

一方、現在実施している住まいの地震対策としては、寝室などの家具は倒れてもベッド(寝ている場所)に倒れない方向にしている27.6%、家具(タンスなど)が倒れないように転倒防止対策をしている24.0%などが上位となっていますが、2割台にとどまっておらず、住まいの地震対策の徹底がさらに必要なことが判明しました。特に、地震対策はそもそもやっていない方が24.9%と4人に1人が地震対策をやっていない状況となっています。また、住まいの地震対策を見直している方が45.3%、見直していない方が54.2%となっており、見直していない方が8.9ポイント高くなっています。

■調査結果の要約

- 地域で大規模地震が発生した場合、あなたの住まいは不安だと思ふ方が69.6%(事前調査から)
 - ▶ とても不安である(20.6%)、不安である(49.1%)を合算
- 地域で大規模地震が発生した場合、住まいに不安のある方は、マンション(持ち家)60.4%、一戸建て(持ち家・借家)71.0%となり、一戸建て(持ち家・借家)にお住まいの方のほうが、10.6ポイント高い(事前調査から)
- あなたの住まいが不安だと思ふ理由BEST4

家(住まい)が壊れる可能性があるから	44.7%
家の中の物が落下して怪我をする可能性があるから	44.1%
窓ガラスなどが割れて怪我をする可能性があるから	40.7%
倒れた家具(タンスなど)で怪我をする可能性がある	40.0%

- ご家庭で実施している住まい地震対策BEST5

寝室などの家具は倒れてもベッド(寝ている場所)に倒れない方向にしている	27.6%
家具(タンスなど)が倒れないように転倒防止対策をしている	24.0%
背の高い家具などを置かないようにしている	22.0%
地震で落下した際に怪我をしそうな物を高いところに置かないようにしている	22.0%
テレビやパソコン(モニター含む)などに転倒防止対策をしている	20.9%

- 地震対策はそもそもやっていない方が24.9%
- 住まいの地震対策を定期的に見直していますか?(地震対策はそもそもやっていない方、わからない方を除く)

定期的に見直している	11.5%
定期的ではないが見直している	33.8%
あまり見直したりしていない	39.7%
全く見直したりしていない	14.5%

■調査結果(詳細)

【事前調査結果】

Q1. 地域で大地震が発生した場合、あなたの住まいは不安だと思いますか？

	実数	比率
とても不安である	447	20.6%
不安である	1065	49.1%
あまり不安ではない	466	21.5%
全く不安ではない	64	2.9%
わからない	129	5.9%
計	2,171	100.0%

▶ 不安な方=69.6%、不安でない方=24.4%

【住まいの形態別クロス集計】 かつこ内は実数

不安な方=とても不安である+不安である、不安でない方=あまり不安でない+全く不安でない

	不安な方	不安でない方	わからない	計
一戸建て(持ち家&借家)	71.0%(859)	24.2%(293)	4.8%(58)	100.0%(1,210)
マンション(持ち家)	60.4%(203)	31.0%(104)	8.6%(29)	100.0%(336)
マンション・アパート(賃貸)	71.8%(441)	21.3%(131)	6.8%(42)	100.0%(614)
その他	81.8%(9)	18.2%(2)	0.0%(0)	100.0%(11)
全体	69.6%(1,512)	24.4%(530)	5.9%(129)	100.0%(2,171)

【調査結果】 Q1で、地域で大地震が発生した場合、あなたの住まいが不安な方に質問 (有効回答数:555 サンプル)

Q2. あなたの住まいが不安だと思う理由をいくつでもお選びください(MA) N=555

	実数	比率
家(住まい)が壊れる可能性があるから	248	44.7%
家の中の物が落下して怪我をする可能性があるから	245	44.1%
窓ガラスなどが割れて怪我をする可能性があるから	226	40.7%
倒れた家具(タンスなど)で怪我をする可能性がある	222	40.0%
火災などが発生する可能性があるから	199	35.9%
家の中に閉じこめられる可能性があるから	178	32.1%
津波などがおしよせる可能性があるから	93	16.8%
具体的にはわからないが漠然と不安を感じている	82	14.8%
わからない	29	5.2%
その他	4	0.7%
答えたくない	4	0.7%

Q3. ご家庭で実施している住まい地震対策いくつでもお選びください N=555

	実数	比率
寝室などの家具は倒れてもベッド(寝ている場所)に倒れない方向にしている	153	27.6%
家具(タンスなど)が倒れないように転倒防止対策をしている	133	24.0%
背の高い家具などを置かないようにしている	122	22.0%
地震で落下した際に怪我をしそうな物を高いところに置かないようにしている	122	22.0%
テレビやパソコン(モニター含む)などに転倒防止対策をしている	116	20.9%
照明(ペンダントライト)は揺れにくいものになっている	109	19.6%
ダイニングテーブルなどは頑丈なものになっている	94	16.9%
冷蔵庫などに転倒防止対策を実施している	81	14.6%
家具などの扉が地震で開かないような工夫をしている	77	13.9%
ガラスや鏡に飛散防止フィルムを貼っている	46	8.3%
その他	5	0.9%
地震対策はそもそもやっていない	138	24.9%
わからない	24	4.3%

Q4. あなたのご家庭では住まいの地震対策を定期的に見直していますか？ (SA)

▶ Q3. で、地震対策はそもそもやっていない、わからないを除く 393 名に質問

	実数	比率
定期的に見直している	45	11.5%
定期的ではないが見直している	133	33.8%
あまり見直したりしていない	156	39.7%
全く見直したりしていない	57	14.5%
わからない	2	0.5%
計	393	100.0%

●調査概要

・有効回答:555 サンプル

・調査対象:20 歳以上の既婚女性

	実数	比率
20 代	111	20.0%
30 代	111	20.0%
40 代	111	20.0%
50 代	111	20.0%
60 代以上	111	20.0%
全体	555	100.0%

・調査時期:2023 年 2 月 28 日から 3 月 2 日

・調査地域:全国(沖縄を除く)

【地域】

	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方	全体
実数	19	38	206	83	116	28	21	44	555
比率	3.4%	6.8%	37.1%	15.0%	20.9%	5.0%	3.8%	7.9%	100.0%

・調査方法:WEB調査

・調査会社:ジャストシステム

・事前調査:について

本調査を実施する前に、「地域で大地震が発生した場合、あなたの住まいが不安な方」を抽出するために事前調査を実施し、2,171 名から有効回答を得ました。調査時期:2023 年 1 月 20 日、調査方法、調査会社は本調査と同様です。

◆当社概要

・会社名 株式会社LIXIL住宅研究所

・代表者 代表取締役社長 加嶋 伸彦

・本社所在地 〒141-0033 東京都品川区西品川1-1-1

・URL 【株式会社LIXIL住宅研究所】 <https://www.lixil-jk.co.jp/>



◆LIXIL住宅研究所 概要

住宅及びビル建材・設備機器の製造販売・住宅フランチャイズチェーンの運営など、総合的な住生活関連事業を展開するLIXILの一員です。住宅フランチャイズチェーン事業の運営を担う企業として、アイフルホーム、フィアスホーム、GLホームの3ブランドを展開し、国内最大級の住宅フランチャイズチェーン事業を展開しています。